

恵那農林事務所農業普及課の普及活動報告 令和6年11月

恵那の農畜産物のブランド展開

■クリ・東美濃クリ産地「えな宝月」推進チーム会議

クリ新品種「えな宝月」によるオール岐阜体制づくり

恵那農林事務所では、中山間農業研究所で育種されたクリ新品種「えな宝月」の特徴を生かしてブランド化を進めていくため、生産者、実需者及び関係機関で東美濃クリ産地「えな宝月」推進チーム会議を令和5年度に設置し、振興方針の策定、品質調査や加工品開発を支援してきた。

令和6年度は、新たに開発したスプレッドの消費者の反応を確認するため、11月10日に開催されたJ Aひがしみの農業祭で「えな宝月」のスプレッドの試食アンケート調査を実施した。当日は、350名分の試食を用意し、試食者151名からアンケートの回答をいただいた。アンケート回答者の約65%がクリの風味が強いと感じ、「えな宝月」の特徴を生かした素材に仕上がってきたと実感した。

試食アンケート調査結果を受け、令和7年4月の販売開始に向け、出来上がった素材を生かした商品づくりの支援を継続していく。

「えな宝月」の新商品の販売につながれば、育種、苗生産、生産、出荷、加工、販売まですべて岐阜県内で体制が整う。オール岐阜による新たなクリ振興モデルが構築でき、東美濃クリ産地のさらなる発展につながることを期待している。



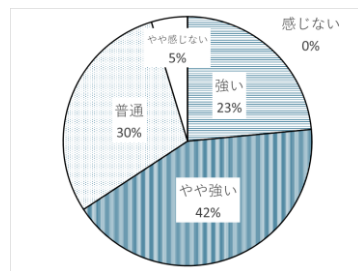
【東美濃クリ産地「えな宝月」推進チーム会議の検討状況（8月19日開催）】



【農山漁村発イノベーションプランナー派遣を活用した新商品づくり支援状況（6月11日実施）】



【試食した「えな宝月」のスプレッド（11月10日実施）】



【スプレッドのクリの風味の強さを感じた割合（11月10日調査）】



【生産者・実需者向けリーフレット（11月作成）】



【クリ新品種「えな宝月」の特徴】

- 岐阜県育成
品種登録番号第24747号
- 収穫期は、「丹沢」と「筑波」の間
- 樹姿は、開張性
- 肉質は粉質で果肉色は黄色く極良食味
- 風味が非常によく、低温貯蔵性が高い

（園芸産地支援第二係）